

エコモビコラム

★第1回★

第1回のテーマは、「『エコモビリティライフ』とは」、「『エコモビ』のメリット（CO2の削減・健康編）」です。

①「エコモビリティライフ」（エコモビ）とは

「エコモビリティライフ」（略して「エコモビ」）とは、環境（エコロジー）の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげたことばで、クルマ（自家用車）と電車・バス等の公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けて、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイルをいいます。

愛知県は、クルマの保有台数が全国一で、東京や大阪などの他の大都市圏に比べてクルマの利用が多い交通体系となっています。

クルマは非常に便利で、生活に不可欠な交通手段ですが、クルマへの過度な依存は、地球温暖化や交通事故、中心市街地の空洞化や渋滞などの問題にもつながります。

「エコモビ」を推進することにより、こうした問題の解決を図り、持続可能な社会の実現を目指しています。

②「エコモビ」のメリット（CO2の削減・健康編）

「エコモビ」を実践することで、次のようなメリットが期待できます！

【CO2の削減】

本県のCO2排出量のうち、運輸部門からの排出量は16.7%を占めています（2018年度数値）。手段別で見ると、クルマ（自家用車）が1人を1km運ぶのに排出するCO2排出量は、バスの約2倍、鉄道では約8倍であることが分かっています（2019年度数値）。従業員100人がクルマ通勤からエコ通勤に切り替えると、年間で約108tものCO2を削減でき、通勤時などに自家用車の利用を控える「エコ通勤」を実践することで、地球温暖化防止策として非常に大きな効果が得られます。

【健康の増進】

クルマで約25分の道のりを徒歩と電車で行く場合、カロリー消費量は約2倍になります（40歳代男性の場合で、往復のカロリー消費量70⇒142kcal）。クルマ通勤者はエコ通勤者に比べて約1.5倍、肥満の割合が高いというデータもあります。事業所として、クルマ通勤者にエコ通勤への転換を促すなど、「エコモビ」を実践することで、従業員の健康増進にもつながります。

★第2回★

第2回のテーマは、『『エコモビ』のメリット（渋滞の緩和・交通事故リスクの軽減編）』、『『エコモビ』を実践しよう！』です。

①「エコモビ」のメリット（渋滞の緩和・交通事故リスクの軽減編）

【渋滞の緩和】

朝夕の通勤時間帯などでは自動車交通が集中し、渋滞の原因となっています。渋滞は道路の通過可能量を超えるクルマの通行により発生しますが、その超過分は数%から10数%程度といわれています。クルマ通勤からエコ通勤への転換などでクルマの通行量が数%減少するだけでも、地域の渋滞緩和につながります。

【交通事故リスクの軽減】

運転免許を持っている方実に3人に1人が一生のうちに交通事故（人身）を起こすというデータがあります（運転免許の保有期間を50年で計算）。この数字には、免許を持っていて運転をされない方も含まれていますので、普段、クルマを利用する方の交通事故のリスクはさらに高まることとなります。日頃から「エコモビ」を実践することは、こうしたリスクの軽減にもつながります。

②「エコモビ」を実践しよう！

普段何気なくクルマで移動されている方でも、他の交通手段に変えてみることで、かえって早く着いたり、安全に楽に移動できたりするかもしれません。自分にとってどんな方法で行くのがよいか、クルマ以外の手段も考えてみてはいかがでしょうか。

◇MaaS(マース)※について

愛知県では、移動手段選択の最適化により混雑緩和や環境負荷低減など様々な効果が期待できる MaaS(マース)について、ジブリパーク開業により国内外から多くの来訪者が想定される名古屋東部丘陵地域を対象として、先導的な社会実装に向けた取組を行っています！

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/maas.html>

※Mobility as a Service の略で、出発地から目的地までの移動に対し、様々な移動手段・サービスを組み合わせて一つの移動サービスとして捉えるもの。

【鉄道】

定時性に優れる鉄道での移動であれば、渋滞に巻き込まれることもなく、スムーズに目的地にたどり着けます。最寄り駅までの距離が遠く、駅までのバス路線などがなくても、最寄り駅までクルマで行くパーク&ライドの方法があります。

【バス】

バスでの移動も考えることで、クルマ以外で移動できる範囲が広がります。経路検索サイトではバス路線が検索できない場合もありますが、次のサイトから簡単にバス路線を調べることができます。

◇路線図ドットコム（県内各地域） <https://www.rosenzu.com/>

◇なごや乗換ナビ（名古屋市バス） <https://www.kotsu.city.nagoya.jp/jp/pc/route/>

◇みちなびとよた（豊田市内） <http://michinavitoyota.jp/portal/index.html>

また、最近では、バスの運行情報をスマホやパソコンから確認することができるバスロケーションシステムの導入が進んでおり、バスの位置や遅れの情報などを簡単に知ることが

できます。

◇名鉄バスロケーションシステム <http://www.meitetsu-bus.co.jp> など

【自転車】

自転車は、環境にやさしく、健康にもよい、低コストの移動手段です。5 km程度の短距離の移動であればクルマなど他の手段よりも所要時間が短いといわれています。いつもクルマで通う道を自転車で行ってみることで、渋滞なくスムーズに目的地に着けたり、途中で街の新しい魅力を発見できたりするかもしれません。自治体によっては自転車の購入に補助が出るところもあります。

また、近年、シェアサイクル（自転車をほかの人と共有するシステム。サイクルポート（自転車の貸出、返却を行う場所）の中から好きなポートで自転車を借り、好きなポートで返すことができます。）の普及も進んでいます。

【クルマ】

クルマでしか行けないところでも、エコドライブを実践することで燃費が向上したり、交通事故のリスクを減らしたりすることができます（エコドライブの実践で約10%の燃費向上、交通事故半減というデータも）。

◇環境省 エコドライブHP

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/ecodriver/>

カーシェアリング（クルマを所有せず、多数の人でクルマを共同利用するシステム）のステーションの数も増加しており、利用しやすくなっています。近くにステーションがなくても、目的地近くまで公共交通で行き、そこからカーシェアリングを利用するという方法もあります。

★最終回★

最終回のテーマは、「コロナ禍においても、できることから『エコモビ』を実践しよう！」です。

○コロナ禍においても、できることから「エコモビ」を実践しよう！

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公共交通機関の利用呼びかけが難しい場合もありますが、エコ通勤をはじめとする「エコモビ」につながる取組は様々であり、できることから呼びかけ、実践いただければと思います。ご参考までに、昨年度、あいちエコモビリティライフ推進協議会構成員向けに実施しました「エコモビ実践キャンペーン2020」での構成員の取組事例をご紹介します。

【自転車通勤の奨励】

- ・自転車通勤者のために、屋根付き駐輪場の確保、更衣室、カッパ置き場、シャワールームの設置や空気入れの配備
- ・駐輪場の拡充
- ・屋根付き駐車場部分を駐輪場として使用するよう目的を変更
- ・近距離通勤者の自転車通勤を奨励
- ・自転車通勤者についても通勤手当を支給

【時差出勤、徒歩通勤など】

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、フレックス制度を活用した時差出勤を奨励、実施

- ・近距離通勤者は徒歩通勤を実施
- ・相乗り通勤にあたって、後部座席との間にビニールシートを吊り、換気を実施

【エコドライブの実践促進】

- ・アイドリングストップ、急発進の禁止など、エコドライブの励行を呼びかけ、実践
- ・エコドライブに係るリーフレットをメール配信、チラシ・パンフレットの配付
- ・社内でエコドライブ研修を実施

【その他】

- ・EV、PHV、HVなどのエコカーの導入
- ・会社が保有する自転車、電動アシスト付自転車を従業員の移動に貸出
- ・従業員がカーシェアアプリに登録（通勤外や業務外での利用）

◇コロナ禍での公共交通機関利用について

昨年度実施の「エコモビ実践キャンペーン2020」では、期間中、公共交通機関の安全利用についてあわせて情報発信した団体もありました。地域により、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や公共交通の混雑状況等が異なるため、一概に言うことは難しいですが、各公共交通機関においても、感染拡大防止対策がとられていることから、時差出勤との併用についてもご検討いただき、公共交通機関にも安全にご利用いただけましたらと思います。

公共交通機関の安全利用に関する取組や情報発信については、下記をぜひご覧ください。

- ・公共交通機関における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について（愛知県交通対策課）

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/covid19-aichikotsu.html>

- ・「公共交通活性化セミナー」について（愛知県交通対策課）

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/20210115seminar.html>

- ・JCOMMとしての新型コロナに対するこれまでの取り組み（一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議）

<https://www.jcomm.or.jp/covid19/>

☆エコモビを紹介する動画も配信していますので、ぜひご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=Bn40zCDn9Vk&feature=youtu.be>

この「エコモビコラム」は、毎月第1水曜日「エコモビの日」の前日に、あいちエコモビリティライフ推進協議会の構成員及び「エコモビ実践キャンペーン2021」参加企業・団体等あてに「エコモビ」関係の情報提供を目的に配信した「あいちエコモビメールニュース」（第157号～159号）からの抜粋です。

「エコモビコラム」のメールニュースへの掲載は10月から12月まで。

従業員の皆様への「エコモビ」情報周知にご活用ください。

※ エコモビコラム作成にあたり、県Webサイト・エコモビWebサイト掲載内容のほか、以下の資料を参考にしました。

- ・国土交通省Webサイト
- ・環境省Webサイト
- ・公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団Webサイト
- ・一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議Webサイト
- ・交通工学研究会 「『交通渋滞』徹底解剖」